

解答

一 (1) 素材 (2) 厚〔い〕 (3) 賛成 (4) 要領 (5) 首脳

二 (1) なこ (2) 頭 (3) 船 (4) 利益 (5) 千・万

三

問1 物質循環やエネルギーの流れ

問2 ウ

問3 イ

問4 ア

生物は、気候の変動に応じて分布域を変えたり自分の性質を進化させたりしてきたが、同じ種であっても気候の違うところのものは遺伝的に大きく異なるのがふつうだから。

植物は動物のように移動できず、一世代の時間も長いいため、急激な温度変化に応じて分布域を変えにくいから。

問6

問7 エ

(1) すなわち、温

(2) 現在熱帯に住んでいる昆虫は、耐えられる温度の範囲が狭く、現在生息しているところの環境温度が最適温度なので、温暖化が進むと残せる子孫の数が減ると予想されるから。

四

問1

問2

問3

問4

問5

問6

問7

問8

問9

問10

高校の三年間、足が痛む度に休養し、我慢しきれずに練習しては再発するということを繰り返して、一人だけ別メニューでトレーニングしながら、考えられる治療は全てやって回復に努め、ようやく駅伝に出場できるまでになったこと。

「九州瀬戸内駅伝」(の時)

ア

ア

解説

三

問5

一つ前の段落で、「変化に応じて生物は分布域を変化させたり、あるいはより暖かいあるいは寒い気候に適したように自分の性質を進化させたりしながら新しい環境に適応してきた」とありますが、次の段落で「同じ種であっても気候の違うところのものは遺伝的に大きく異なるのがふつう」とあり、ヒトが稀有な種であることがわかります。

四

問7

少し後の部分で「高校での三年間は痛みを覚えては休養。そして、我慢しきれずに練習して痛みを再発させるという事を繰り返し、一時期は精神的に荒んでいた。」とあり、その後一人だけ別メニューを提案され、筋トレや治療など「考えられる事は全てやり、回復に努める。」「そして、三年生の秋。穂波は全快し、駅伝に出場できるところまで回復した」と、遠回りの日々が描写されています。